

The 40th 第40回東京モーターショー2007

TOKYO MOTOR SHOW 2007

News vol.18



平成19年11月11日

世界に、
未来に、
ニュースです。

Catch the News,
Touch the Future.

自動車部品・用品

クルマづくりを部品エリアで丸ごと体感



第40回東京モーターショーに出展している自動車部品・用品メーカーのブースは、幕張メッセ北ホール、タイヤ・オーディオ館を経て西ホール、さらに中央、東ホールの一部と、広範囲に展開されている。

部品メーカーは自ら完成車を作ることはないが、クルマ1台あたり数万点にも及ぶ構成部品について、高品質な製品を生み出す技術力、進化させていく開発力など、それぞれ独創的な“ものづくり力”を持っている。完成車メーカーが競争力のあるクルマづくりを行ううえで、それら部品メーカーのパワーは絶対に欠かすことのできないものだ。

その“ものづくり力”の成果である現行の部品の数々、また開発中の将来技術や遠未来を見すえたイノベーションのコンセプト

トなど、多様な展示が行われているとあって、各社のブースには自動車業界関係者はもちろん、自動車業界志望の若年層や、クルマのテクノロジーをもっと知りたいという来場者などが大勢訪れ、会場をにぎわしている。

製品を並べるだけでなく、シミュレーターに乗って未来技術を楽しみながら仮想体験できるコーナーを設置したり、複雑な機構がどのように動くのかがひと目でわかる可動モデルを展示しているブースも多い。子供から大人まで、さまざまな層の来場客がそれらの展示を通じてクルマのシステムや未来に触れて楽しむ姿が会場のあちこちで見られる。来場者が実際にクルマに触れられることをセールスポイントとする東京モーターショーならではの光景だ。

商品力向上技術

Product Enhancement Technologies

¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥



タチエス、河西工業、市光工業の3社がインテリアコンセプトをコラボレート



スタンレーはLEDの使い方を提案



ドアミラーも進化する

競争力のあるクルマづくりに必要なテクノロジーは、エンジン、シャーシなどの基本部分だけではない。魅力的な内外装、静かな車内、ドライブを楽しむアイテムといった、商品力向上のための数々の技術がモーターショー会場を彩っている。

内装関連では**トヨタ紡織**が環境にやさしいばかりでなく質感にも優れるバイオファブリックシートを参考出品。昨年業務提携を行った**タチエス**と**河西工業**は照明大手の**市光工業**を加えて「くつろぎと癒しのインテリアコンセプト」を提案。**川島織物セルコン**は、布一枚で体圧分散設計が可能な「バネックス」を出品。**シーメンスVDO**が可動式のクラスターメーター、**双葉電子工業**がFEDによる計器のバーチャル表示技術を展示するなど、メーター類の質感アップも。

オーディオ類も充実。**BOSE**はフェラーリ純正装着モデルを、「フェラーリ612スカリエッティ」の実車を使ってデモ。ほか、**アルパイン**、**ソニックデザイン**など多くのメーカーがプレミアムサウンドの提案やデモを行っている。**松下電器産業**が後席用の超ワイド型液晶ディスプレイを参考出品するなど、車内アミューズメントの新提案も多い。

快適性向上技術で多くの自動車メーカー関係者の関心を引きつけていたのは、**東洋ゴム工業**が出品した、サスペンション上部に装着し、路面からボディを介して伝わるロードノイズと逆位相のノイズを発生して車内騒音を大幅に減らす電磁式アクチュエーター。**難波プレス工業**のリサイクル吸音パッドなど、環境対応部材も増えてきた。

外装では照明メーカーがきらびやかな次世代照明技術を提案している。**スタンレー電気**は次世代のライティングを提案するLED搭載コンセプトミニモデルを展示。**小糸製作所**はランプの色を刻一刻と変化させる意匠性の高い次世代ヘッドランプユニットを、**ヴァレオ**はバルブを使わず、ライトの点灯パターンを自在に変えられるユニットを出品している。

質感、機能性向上では**トピー工業**がアルミと樹脂を接合させながら耐久性を確保するハイブリッドアルミホイールを出品。**村上開明堂**は足下ランプ、側方カメラ、自動防眩ミラーなど多機能をビルトインしたドアミラーを提案するなど、各社がアイデアを競っている。



シーメンス VDO のポップアップディスプレイ



トピー工業のハイブリッドアルミホイール



小糸製作所の次世代ランプは色七変化



川島織物セルコン「バネックス」シート



これひとつで車内が格段に静かに



BOSE のフェラーリ純正オーディオを生体験



クルマと自宅をITで結ぶ松下電器産業のデモ



ケータイとカーナビがデータリンク



豊田合成の可視光通信

次世代のクルマを作るためのコアテクノロジーのひとつに挙げられているのが情報技術(IT)。今日、情報技術はクルマのエンジン&サスペンション、車体制御、カーナビの位置情報および地図情報といった運行情報、さらにアミューズメントまで、さまざまな分野で活用されているが、将来はクルマおよび道路をネットワーク化し、状況に応じて最適に制御する「ITS統合制御」に向かうとみられている。

今回の東京モーターショーでは、その進化の過程に位置する次世代技術が数多く出品されている。デンソーの次世代AFSヘッドランプシステムは、カーナビの位置情報、道路情報と連動して、より安全に前方を照射するという発想のもの。ボッシュは最新のESP(車両安定装置)を展示しているが、「位置情報を加えることで、さらに制御をアクティブ化できる」(ボッシュ関係者)という。

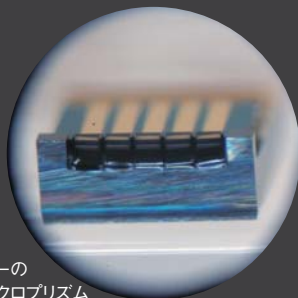
ゼンリンは二次元の地図だけでなく、道路・地形のアップダウンから側壁、路面の白線や標識などの情報を盛り込んだ、ITS統合制御のベースとなる新GIS(地理情報システム)を参考出品。豊田合成は路車間、車車間の通信を電波ではなく光で行う次世代可視光通信を提案している。

IT関連の技術革新をバックボーンとした新しいインフォメーションサービスを盛んに提案しているのは電機・カーオーディオメーカー。松下電器産業はクルマから自宅のカメラ付きインターホンを通じて来客の対応や防犯措置が可能な次世代プラットホームを、三菱電機はETCに使われているDSRC(路車間狭域通信)技術を応用した次世代サービスを提案。富士通テンは携帯で探索した店や駐車場情報をカーナビにワンタッチで送り、目的地として登録できるシステムのデモを行い、来場者の興味を引いている。

次世代のクルマづくりの技術も多数見られた。デンソーはレーダーセンサーの低コスト化に貢献するマイクロプリズムの新生産技術を展示。東海理化はトヨタの「i-REAL」に使われている両手レバー式の操縦装置など、ハンドルに代わる次世代インターフェースを、クラリオンは手を触れずともカーナビが操作できるという非接触インターフェースを出品し、注目を浴びた。



非接触インターフェース



デンソーの新マイクロプリズム



ゼンリンの次世代GISのデータ部分



日立製作所の指静脈認証



東海理化のレバー式コントローラー

TOPICS

親子で楽しむクリーンエネルギー車教室 「燃料電池車っていくらするの?」

前回(2005年)に引き続き、小学生を対象とする「親子で楽しむクリーンエネルギー車教室」が国際会議場内で行われている。10月29日から11月1日の間は千葉市の小学校を対象に実施した。11月10日と11日の2日間は、朝日新聞と朝日小学生新聞が一般募集した小学生が中心で、約900人が参加。授業時間は40分ほどだが、前半は自動車を取りまく問題点や環境にやさしいクリーンエネルギー車はどんなものがあるかなどをお兄さん・お姉さん「先生」と楽しく勉強。その後、テーブルごとに手回し発電機を使って、実際に電気エネルギーを発電させてみるなど、クリーンエネルギーに対する理解を深めた。

質疑応答では「海水からエネルギーをつくることのできるのか」「燃料電池車はいくらなの」など、「するどい」質問も飛び出した。



燃料電池車のデモ走行



手回し発電機で電気をつくる実験も行った

- コーディネーター：木場 弘子（キャスター、千葉大学教育学部特命教授）
 ■パネリスト：榎木 孝明（俳優）
 永島 敏行（俳優）
 須藤 英一（フリーカメラマン）
 小山 泰一（NEXCO 中日本高速道路 保全・サービス事業本部 ETC担当部長）
 両角 岳彦（フリーモータージャーナリスト）
 ※両角、小山両氏は後半の部から登壇
- 主催：特定非営利活動法人 ITS Japan

11月10日開催



前半の部では榎木氏が「宿を予約する予定調和の旅よりも、ふらり旅での現地の人と交わる心の旅が楽しい」、永島氏は「子どもの時に身近に親しんだ自然を自分の子にも伝えたい」と発案して始めた米作りのいきさつを披露。須藤氏は自著の「日本百名道」の中から八幡平アスピーテライン、秋吉台スカイラインといった、道から見える風景の美しさをスライド紹介。その後、榎木氏が巡った日本の世界遺産の一部を上映し、前半テーマである「美しい日本再発見」を語り合った。

後半の部では「ETCは知っているけど、ITS（高度道路交通システム）って聞いたことがない」という榎木、永島氏に両角氏が「全体の移動をどうマネージメントしていくかの幅広い概念」だと解説。続いて小山氏が

ETCを使って得する利用術として、永島氏が出演した風林火山の史跡を1泊2日でドライブする際のオススメ法をその場でデモ検索。100k（キロ）検索サイトや時間帯割引を上手に使うと、東京からの通常の高速代4,400円を2,200円にまでできることを披露した。

また両角氏は有名なミシュラン・ガイドを例えにしながら、スマート・インターチェンジの拡大によって、これから日本でも様々な旅先情報が充実していく可能性に言及。アクセルの踏み方ひとつで10%燃費改善ができるなど後半テーマである「知って得するドライブ旅行」に話題が集中。最後に木場氏がまとめる形で「日本の美しさをもう一度見直して、エコドライブを」と会場に訴えかけていた。

SPECIAL

千葉県警白バイ隊デモ走行
雨二モ負ケズ、神業の演技

東京モーターショー会場のある幕張メッセ周辺の交通管理や交通安全の啓蒙活動などの任務を日夜行っている千葉県警察交通機動隊。11月10日、西休憩ゾーンの「ライフスタイルパーク」では、男性白バイ隊と女性白バイ「ホワイトレディース」の男女4人の白バイ隊員に



4台の白バイが神業の演技を次々披露



男性顔負けの演技の女性白バイ隊員

によるデモンストレーション走行が行われた。リーダーの合図で敬礼の後、「走る、曲がる、止まる」を基本動作に半径3メートル以内での円走行、小道路旋回、8の字走行など、4台の白バイが、神業の演技を次々披露した。

この日はあいにくの雨にもかかわらず、大勢の来場者が雨傘を片手に隊員たちの一糸乱れぬ演技に息を呑み込んでいた。

「バイクに駐車スペースを！」

会場で署名運動を展開



日本自動車工業会とNMCA日本二輪車協会は、中央休憩ゾーンで、都市部の駅周辺などでの駐車スペースの確保・充実を求める署名運動を実施している。昨年6月以降の駐車違反取り締まりの強化にともない、二輪車ユーザーからは「街なか止める場所がない」「いったいどこに止めればいいのか」などといった苦情の声が多く寄せられている。このため、一刻も早い事態改善が求められており、会場で集められた貴重な署名は、政府をはじめ地方自治体など関係方面に、財政措置を含めた支援策などの要望書を提出する。

EVENT

今日のイベント（予定）

11月11日
(日)

<ライフスタイルパーク（西休憩ゾーン）>

● JAFロードサービスの実演
10:45~11:15 / 14:30~15:00● 白バイ デモンストレーション
11:30~12:00 / 13:45~14:15● ダブルダッチ
12:15~12:45 / 16:15~16:45● トライアルデモンストレーション
13:00~13:30 / 15:30~16:00

● 少年少女モーターサイクルスポーツスクール
（中央休憩ゾーン）
午前の部：10:00~12:05（試乗券配布 9:30~）
午後の部：14:00~16:05（試乗券配布 12:30~）

● スロットカー・サーキット

9:30~19:00（北ホール2階・キッズパーク）

● ミニシアター〜クルマの夢・楽しさ・素晴らしさ〜

10:40~12:25 / 13:05~18:30（国際会議場3階 302号室）

● 4×4 アドベンチャー同乗試乗会

11:00~16:00（幕張海滨公園Gブロック内 特設専用コース）

● セーフティドライブ体験試乗会

11:00~16:00（幕張海滨公園Gブロック内 特設専用コース）

● クリーンエネルギー車同乗試乗会

11:00~16:00（幕張海滨公園D・Eブロック内 特設専用コース）

● 商用車同乗試乗会

11:00~16:00（幕張メッセ周辺公道
幕張メッセ南休憩ゾーン東側通路発着 東ホール東側）

※試乗券配布場所：幕張メッセ南休憩ゾーン西側 ※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。

毎分65枚フルカラー出力
※A4ヨコ 印刷から加工までインラインで高速処理。多様なニーズに応えるハイパフォーマンス。

The essentials of imaging



フルカラー・オンデマンド高速印刷システム ON DEMAND PUBLISHER C65

このニュースは、コニカミノルタ
ON DEMAND PUBLISHER
C65で出力しています。コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
プロダクションプリント事業部
TEL. 03-5205-7820
URL. <http://konicaminolta.jp/pr/odp>